



奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

発行日 2025年3月11日
2024-2025/31

Vol.46

No. 2134

2024-25年度会長スローガン
「皆が主役、一つひとつの
機会を大切に」

2024-25年度 RI テーマ



RI会長 ステファニーA. アーチック

地区スローガン
「持続可能なロータリーに！
共に学び、共に行動」
RI第2650地区ガバナー
中本 勝

- 創立：1979年1月23日
- 例会会場：毎週火曜日 17:30~18:30
奈良ホテル本館
奈良市高畑町1096番地 電話 (0742) 26-3300
- 事務所：奈良市大宮町6丁目3-7 中室ビル3F
電話 (0742) 33-8583 FAX (0742) 33-8600
hp : <http://www.naraomiya-rc.jp>
E-mail : info@naraomiya-rc.jp
- 会長：宮西 正伸 ■副会長：水野 憲治 ■幹事：門脇 伸幸

お客様紹介

- ・奈良県赤十字血液センター所長 医学博士 櫻井 嘉彦 様
- ・奈良県赤十字血液センター 山口 悠 様

会長挨拶・理事会報告【宮西会長】



3月1日（土）グランドプリンスホテル新高輪に於きまして、東京恵比寿RCがホストとなりました2750地区の地区大会が開催され、当クラブから応援の意味も込めまして、18名の方がご出席いただきました。内容は伊藤千恵ガバナーの点鐘に始まり、青少年各プログラムの参加者発表、アフリカのスーダンで医師として活動されております川原尚行さんのご講演、元宝塚宙組トップスターの和央ようかさんのスペシャルショーなど、盛り沢山でありました。また、翌日の3月2日

（日）には、リーガロイヤルホテル京都に於きまして地区職業奉仕講演会が開催され、後ほど志茂職業奉仕委員長からご報告があると思いますが、北河原パストガバナーが担当の諮問委員でおられますこともあって、当クラブから十数名の方にご出席いただきました。それぞれご出席いただきました会員の皆様、本当に有り難うございました。

さて、本日は第9回理事会が開催され、昨日から始まりました近鉄奈良駅ビルでの献血活動、および10日（月）のJWマリオット・ホテル奈良での献血活動について報告され、東京恵比寿RCさんが4月15日（火）に来訪される件、太宰府RCさんに5月20日（火）に伺う件など協議致しました。詳しくは議事録をお配りさせていただきます。

最後に、先週も申し上げましたが、次週の例会後に30分程度クラブ協議会を行いますので、皆様ご予約の程、宜しくお願い致します。また、例会前の12:30~13:30までですが、大和高田RCの例会で、植村直前会長が、昨年度45周年で取り組まれました青少年奉仕事業の内容を卓話に行かれます。聞きに行こうという方がおられましたら、お知らせください。では、残りの時間はロータリーの友のご案内と致します。有り難うございました。

詳しくは動画をご覧ください。

例会プログラム

第32回 3月11日 通算2134回

1. 握手挨拶
2. 開会点鐘
3. ソング
4. 会長挨拶
5. 例会状況報告
6. 委員会報告
7. 幹事報告
8. 卓話
9. 閉会点鐘

例会状況報告

3月4日 通算2133回

- ・会員数 68名
- ・出席免除者数 14名
- ・出席者数 51名
- ・出席率 86.44%

2月18日 通算2131回 (修正)

- ・会員数 68名
- ・出席免除者数 14名
- ・補填者 3名
- ・出席率 98.31%

委員会報告

【会報・雑誌委員会 中奥副委員長】

- ・ロータリーの友読みどころ

【出席委員会 川邊委員】

- ・出席報告

【ニコニコ委員会 福田委員】

- ・ニコニコ報告

【職業奉仕委員会 志茂委員長（クラブ討論会のまとめと地区職業奉仕講演会の報告）】



皆様、こんばんは。職業奉仕委員会から二点ご報告いたします。まず、1月に実施した職業奉仕のクラブ討論会についてです。本日、状差しに討論会の内容をまとめた報告書（2枚）を配布しております。事業承継に関しては、すでに取り組みされている方、これから考えられる方、ご子息への承継や従業員への承継を予定されている方など、様々なケースがありました。参考になる点も多いと思いますので、ぜひご覧ください。また、人手不足への対応についても、異なる業種の意見が共有されており、今後の事業運営の参考にしていただければと思います。

次に、3月2日に開催された地区職業奉仕講演会についてご報告します。今年度のテーマは「私と職業奉仕」で、奈良ロータリークラブ会長・朝廣佳子さんの講演を拝聴しました。朝廣さんは「yomiっこ」や「奈良っこ」などの情報誌を通じて奈良の魅力を発信しながら、「なら燈花会」や「天平祭」などのボランティア活動にも尽力されています。職業と奉仕を融合させる中でのご苦労や信念を語られました。

講演後には、朝廣さん、中本ガバナー、当クラブの北河原PGによる鼎談が行われました。その中で北河原PGは、「ロータリーの奉仕活動は菩薩の心そのもの」と述べられ、見返りを求めずに人に手を差し伸べることこそが奉仕の本質であり、そして自分の職業を全うして人のお役に立つのが職業奉仕であるということを教えてくださいました。

以上、ご報告とさせていただきます。

【社会奉仕委員会 山口委員長（献血活動について）】



皆さま、こんばんは。社会奉仕委員会よりご連絡いたします。昨日より、第一弾の献血活動が始まっており、清岡さんと増井さんにご協力いただきました。明日は中寫先生がご参加される予定です。それ以外にも多くの方々にお声がけいただいていることと思います。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

次に、来週月曜日にはJWマリオット・ホテル奈良にて献血活動を実施いたします。当日は、会場内での誘導や案内業務がございますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

また、この事業が終了した後も、献血への意識が皆さまの中にしっかりと根付くよう、意義のある活動にしていきたいと考えております。どうか引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。以上です。

幹事報告

- ・3/6 IAC例会 5年生最後 14:00～
- ・3/11 例会終了後 クラブ協議会
- ・3/12から情報集会が始まります。

◎状差し

- ・職業奉仕クラブ討論会報告書
- ・3月スケジュール表
- ・ロータリーの友3月号
- ・ガバナー月信3月号

◎受付出欠表

- ・3/10 JWマリオット・ホテル献血出欠
- ・4/8 第2回親睦ゴルフ大会出欠
- ・5/18 第4回家族親睦例会出欠



卓話講師：奈良県赤十字血液センター 所長 医学博士 櫻井嘉彦 様
テーマ：血液事業の現状

現状の説明

資料配布：本日の会議では、血液事業の現状についての冊子が配布され、山口氏が作成した最新の状況報告も提供されました。

- 献血の歴史：
 - ・終戦後の一時期は売血と献血が共存していました。
 - ・売血の繰り返しにより「黄色い血」と呼ばれる貧血の問題が発生。
 - ・1964年、ライシャワー事件を契機に、売血から献血への移行が進み、1974年にはすべての血液製剤が献血により確保されるようになりました。
 - ・8月21日は「献血の日」として制定されています。
- 献血の現状と課題
 - 人口動態と高齢化：
 - ・1950年からの人口推移を分析し、16歳から69歳の献血可能年齢層が減少傾向にあることが指摘されました。
 - ・70歳以上の方が輸血を受ける割合が2/3を占めており、献血可能年齢層が高齢者の輸血を支えている現状です。
 - 献血の種類とプロセス：
 - ・全血献血：赤血球、血漿、血小板を含む全血を提供。
 - ・成分献血：特定の成分（血漿または血小板）のみを採取し、赤血球はドナーに返却。
 - ・成分献血は時間がかかる（40分から1時間強）。
 - 血液製剤の有効期限：
 - ・赤血球製剤は28日間、血小板は4日間の有効期限があり、毎日の献血が必要です。
- 今後の展望
 - 医療技術の進歩：
 - ・医療技術の進歩により、輸血の需要は横ばいかやや低下傾向にあります。
 - ・しかし、20代から40代の人口減少と献血行動の低下が懸念されています。

血液製剤とその需要

◦血液製剤の種類と需要の高まり

- 血液凝固因子製剤
 - ・血液病の治療に使用される。
 - ・現在はほとんどが遺伝子組み換え技術で製造されている。
- 免疫グロブリン製剤
 - ・予防接種後に生成される抗体を集めた製剤。
 - ・感染症や自己免疫疾患の治療に有効。
 - ・需要が急増しており、献血血液の半分以上がこの製剤の原料に使用されている。

◦献血血液量の推移

- 年間献血量
 - ・現在、全国で年間225万リットル。
 - ・輸血用血液製剤用は約100万リットルで、やや減少傾向。
 - ・結晶分画製剤用は平成29年から急増し、90万リットルから120万リットルに増加。
- 需要増加の背景
 - ・難治性神経疾患（CIDPなど）への保険適用が拡大。
 - ・患者数は少ないが、継続的な治療が必要であるため需要が高まっている。

血液事業の課題

◎輸血の現状と課題

- 大量出血時の輸血
 - ・赤血球、血小板、血漿を1:1:1で輸血するのが最良の止血方法とされる。
 - ・病院での備蓄が難しく、血小板は保存期間が短いため、無駄になる可能性がある。

◎新技術とその課題

- iPS細胞を用いた血小板製造
 - ・技術は確立されているが、コストが高く、実用化には至っていない。
 - ・企業による研究開発が進行中で、将来的な期待がある。

◎献血の重要性と課題

- 新規献血者の確保
 - ・献血者が「顧客」として重要視されている。
 - ・病院で献血を待つ患者のために、献血者の確保が必要。

献血の現状と課題

◎患者の血液需要

- 患者の状況:白血病やがん患者が多く、定期的に血液を必要としている。
- 冬季の影響:寒い冬には大動脈解離や大動脈瘤の破裂が増加し、急な血液需要が発生することがある。

◎献血の流れ

- 献血者の募集:献血者を募集し、適格であれば採血を行う。
- 血液の検査と供給:採血した血液は感染症の検査を経て、合格したものを病院に届ける。
- 輸血のプロセス:病院で医師が輸血の指示を出し、患者に輸血される。

◎献血者の不足

- 過去のデータ:1994年には650万人以上が献血していたが、現在は減少傾向にある。
- 年代別の変化:特に20代と10代の献血者が激減しており、50代以上が献血を支えている。
- 将来の懸念:60代の献血者は10年後には献血できなくなるため、若年層の献血者確保が急務。

若年層の献血促進

◎若年層の献血率

- 献血率の低下:2000年以降、全世代で献血率が低下しており、8%から10%だったものが6%を下回る状況。
- 若年層の継続的な献血:高校生時代に献血経験のある若者は継続して献血する傾向がある。

◎若年層へのアプローチ

- 教育機関での取り組み:高校や小学校での献血教育を推進。小学校4年生に冊子を配布。
- 夏休みのイベント:親子を対象にした献血イベント「献血丸分かりゼム」を開催。
- 大学や企業でのセミナー:大学や企業の新入社員を対象に献血セミナーを実施。

詳しくは動画をご覧ください。

献血事業（奈良大宮ロータリークラブ主催）

第1弾の献血活動は、3月3日（月）から7日（金）までの5日間、近鉄奈良駅前ビル6階にて実施しました。

続く第2弾は、3月10日（月）にJWマリオット・ホテル奈良で行い、当クラブ会員が献血に協力したほか、献血者の案内や誘導なども行いました。

クラブ参加者・協力者：25名

献血が必要なわけ

輸血はどのようなときに使われるのでしょうか？白血病やがんの患者さんに使われる抗がん剤は、その副作用のため貧血が起こることが多く、輸血が必要となります。抗がん剤との併用が70%程を占めています。このような病気の治療で、血液は常に必要とされています。

長期保存ができない！

血液は生きた細胞の集まりなので、**長い間保存ができません**。いつでも患者さんに血液を届けられるように、毎日新しい血液を確保しなくてはなりません。

全国で1日約3000人！奈良県で1日約100人！

何の数字だと思いますか？実は、**輸血を受けている患者さんの数**なんです。毎日、こんなに多くの患者さんが、血液を必要としています。

人工的に作れない！

現在は、医療技術がどんどん進歩しています。しかし、**血液はいまだに人工的に作ることはできません**。だから、「献血」でたくさんの人から血液を集めるしかないので。

※日本赤十字社より資料です





合計 73,000円 累計 2,280,000円

宮西正伸君 奈良県赤十字血液センター所長 医学博士 櫻井 嘉彦 様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。2750地区大会、職業奉仕講演会にご出席の皆様、本当に有り難うございました。

門脇伸幸君 本日は櫻井様、山口様、宜しくお願ひ致します。

辻本和久君 3月2日の競馬でWIN5が当たりました。

野崎隆男君 先日の2750地区大会ご出席の皆様、大変お疲れ様でした。今月の例会出席もよろしくお願ひ致します。

山口尚紀君 献血活動ご協力よろしくお願ひします。

ニコニコ協力 川端昇君 川邊経恭君 河野里志君 鈴木譲君 武中洋勝君
多田実君 塚本勝君 野末勝宏君 堀内眞治君 松岡浩治君
宮坂勝紀君 森山斗福君 弓場裕史君

◆例会休会・変更のお知らせ◆

<橿原ロータリークラブ>

- ・4月4日（金）例会変更→4月6日（日）地区大会に変更
- ※ビジター受付は4月4日（金）12:00～12:30まで、橿原RC事務局（奈良県薬業会館内）にて行います。
- ・4月18日（金）例会変更→4月15日（火）～16日（水）
一泊例会（福島県郡山安積RC訪問）に変更
- ※ビジター受付は4月18日（金）12:00～12:30まで、橿原RC事務局（奈良県薬業会館内）にて行います。
- ・4月25日（金）休会（定款8条1-Cによる）
- ※ビジター受付は致しません。

今後の予定

- ・3月16日（日）家族親睦例会 於：551HORAIパンチャン店宴会場(例会)
大相撲春場所(エディオンアリーナ大阪)
- ・3月18日（火）例会日振替休み（18日→16日）
- ・3月25日（火）クラブ討論会（社会奉仕委員会）